



オクラ、ゴマ  
つるなしインゲン  
こんな可愛い花が咲  
いてたんだねえ

## 残り10日が2学期に生きる！

**あ** っという間に、夏休みも終わりが見えてきました。(＞\_＜)

残り10日間をどんな過ごし方をするかで、2学期のスタートに大きく影響します。

「生活リズム」です。早寝・早起き・朝ご飯。朝のスタートが何時になるのか？夏休みのうちはのんびりと起きてそれほど支障はなかったかもしれませんが。夜更かしして、朝ゆっくりというリズムができていたとしたら、9月から「さあ早起きするぞ！」といっても、なかなか身体がいうことをききません。そのために、残り10日間をいつもの時間に近づけて生活していくことで、体内時計をつくりあげていくことにつながります。(^^)

**見** 守る。さまざまな活動の中でなかなか上達しなかったり要領を得ないと、ともすると苛立ち、頭を悩ます。そして、こまごまと口を出し、手を貸してしまうことが少なくありません。

それは家庭での子育ても同様。子どもが思うようにしなかったり、できないと、イライラしたり気を揉んだり。つい口うるさく注意し、世話をやいてしまう。

だが、人にはそれぞれ持ち味があり、成長の仕方そのスピードもみな違う。着実に少

ずつ力をつけていく者もいれば、あるとき急に伸びる者もいる。いずれにせよ、懸命に取り組んでいれば、遅かれ早かれ必ず伸びていくのです。

もちろん適切な指導や助言は必要だけれど、手のかけすぎは本人が本来持っている力を奪い、かえって成長を妨げることになりま。大事なものは、辛抱強く、気長に見守ること。結局は、本人の意欲と努力を待つほかはないのですが・・・。

ただ、気をつけておかなければならないことがあります。

「いい子だから言うことをきいてね」

「いいこだからおとなしくしてね」

「いいこだからおるすばんしてね」

「いいこだから〇〇買ってあげるよ」

「いい子だから〇〇へ連れてってあげるよ」

子どもは、どうすることが“いい子”なのかをさと、次第にその枠にはまろうとする。枠にはまった方が楽だし、欲しいものが手に入る。

だが、見えないところでは・・・

「まさかうちの子が・・・」よく聞く言葉です。(＞\_＜)

# 心の洗濯も してみませんか

夏休み、家でのおんびり過ごす時間はありますか。15分から20分でいいと思います。親子で。

子どもの頃に聞いた先生の話が心に焼きついていつまでも離れない。セピア色の一枚の記念写真のように・・・。

ところで、みなさんは毎朝顔を洗いますね。お風呂にも入ります。でも、心を洗うチャンスが少ないようです。心も洗わないと、顔や体と同じように、心にもアカがたままって汚れてしまいます。それでは、心を洗うにはどうしたらよいでしょう。一番良い方法は、読書。本を読むことだと思えます。良い本を読むとほんとうに心が洗われ、耕されます。涙を流したり笑ったり。ドキドキ・ワクワク。いろいろ想像力を働かせ

ることも。人間は若いときにどんな本と出会い、どんな本を読んだかで人生が変わってしまうほど、読書は大きな影響を与えます。みなさん！良い本をじっくり読んで、心を耕してください。絵本でも読み聞かせでもいいのです。

白ポケのみなさんが、子どもたちにワクワクドキドキするようなお話をしてくださるのは、みんなの心の洗濯と心を耕してくださっているんですよ(^-)

読み聞かせには4つの効果が期待されます。

①言語能力・学習能力の発達に②心の成長・情操教育に③考え方の視野の広まり・豊かな想像力に④親子のコミュニケーションに効果があるといわれています。(^\_^)v



## みんな元気で2学期を！

久しぶりに見る、みんなの笑顔！(^)/

園庭で遊んだ後、ゆうぎ室でじゃんけんゲームをして遊びました。(^-)

終業式の時に話した「みんな元気で2学期を！」が合言葉です。またね！

子どもたちの元気な顔が見られることがいちばんの幸せです。(^-)